

令和6年度 学校評価表

(中間・期末)

大崎上島町立木江小学校

学校教育目標	「自ら学び 心豊かで たくましく生き抜く子供」	経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命)「大崎上島町教育推進プラン」を推進し、知・徳・体のバランスのとれた質の高い教育を実現することで、「自ら学び、心豊かで、たくましく生きぬく」児童を育成する。(大崎上島の将来を担うたくましく生きる子供の育成) 【ビジョン】(学校の目指す姿)・自ら学び、創造力のある子供。思いやりの心を持ち、素直で明るい子供。進んで体をきたえ、ねばり強い子供、ふるさと(大崎上島)が大好きな子供を育てる学校 ・子供を大切にし、授業力の向上を目指し、個性を生かしながらチームで協働し、高め合う教職員 ・保護者や地域からこの学校に通わせてよかった、応援してよかったと思わせる学校
--------	-------------------------	--------------------	---

評価計画				自己評価						学校運営協議会委員	改善方策
中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	評価項目・指標 (効果をとる目安)	目標値	達成値	達成度	評価	担当部 責任者	結果と課題の分析	コメント	改善方策
確かな学力・豊かな心	児童の主体的な学びを創造する。	◎主体的・探究的に学習に取り組む態度を育成する。	○学習リーダー等を中心に、課題解決に向けて集中して学習に取り組ませる。	学期毎の児童の自己評価と教師評価	教師85% 児童85%				教務研究部 (須賀) (立田)		
	○各種学力調査の目標値を達成させる。	○少人数指導や複式学級の指導のよさを生かし、児童一人一人にきめ細かい指導を行う。	標準学力調査	全国平均 +5ポイント				教務研究部 (立田)			
豊かな心・健やかな体	基本的生活習慣を確立する。	◎気持ちのよい挨拶や返事ができる。	○全校集会等で挨拶や返事のできていない児童を肯定評価し、挨拶や返事の大切さについて認識させる。学期ごとのあいさつ名人を選出し、表彰する。	学期毎の児童の自己評価と教師評価	85%				保体生活部 (須賀)		
		○「早寝・早起き・朝ごはん」を定着させる。	○家庭と連携しながら、生活チェック点検を通して定着させる。	児童の自己評価	80%				保体生活部 (大政)		
	体力づくりを推進する。	◎運動の機会を増やし、目標を持たせて体力の向上を図る。	○児童一人ひとりが具体的目標設定し、意欲を高める。	目標を達成できた児童の割合	児童85%				保体生活部 (上川)		
信頼される学校	学校や地域を誇りに思う児童を育成する。	◎「大崎上島学」を推進する。	○ふるさと「大崎上島町」の学習を通して、地域を誇りに思う児童を育成する。 ○地域の人材・自然・文化・伝統などを「島まるごと教材」として教育内容に位置づけ、活動を行う。	学期毎の児童の自己評価・教師評価 ・年3回以上実施する	児童90% 教師100%				教務研究部 (望月)		
	児童の主体的な活動を創造する。	◎異学年交流活動に主体的に取り組む。	○異学年交流活動の機会を増やし、主体的により良い人間関係をつくらうとする児童を育成する。	学期毎の児童の自己評価と教師評価	教師90% 児童90%				教務研究部 (望月)		
	開かれた学校づくりに努める。	○積極的な情報発信を行う。	○情報公開を積極的に行う。ホームページの更新、学校だより、学年だより、保健だより等適宜発信する。	月1回以上発信する。	教師100%				教務研究部 (望月)		
	連携教育を充実させる。	○幼・小・中で、連携教育を推進する。	○学習内容や行事を工夫し、園児・児童と一緒に活動させる。小・中連携においては、幼小中連携教育部会で情報交流をする。	学期に1回以上実施する	教師100%				教務研究部 (望月)		
	業務改善を図る。	○児童と向き合う時間を確保し、長時間勤務の減少を図る。	○業務の進め方の改善を図る。 ○個別業務の精選・省力化の工夫を図る。	教師評価	教師80%				教務研究部 (教頭)		

本年度の重点目標については◎印で示す。

【自己評価】
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100
C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60